

北海道新幹線

北海道新幹線の営業施策

北海道新幹線の利用促進

北海道新幹線10周年に向けて

JR東日本と連携し、「えきねっと」や「大人の休日倶楽部」を活用した利用促進を図るほか、北海道・道南と北東北の相互流動を活性化させることを目的として、JR東日本と共同で「ツガルカイセン」プロモーションを実施しています。また、2026年3月に北海道新幹線開業10周年を迎えることから、JR東日本や地元自治体と連携し青函エリアの魅力を発信していきます。

また、地域の交通機関と連携した商品「はこだて旅するパスポート」を設定し、道南観光での「新幹線+二次交通」の利用促進を図ります。



JR東日本との共同プロモーション
「ツガルカイセン」



新幹線施設を活用した商品化・利用促進

当社社員のアイデアをもとに函館新幹線総合車両所・函館新幹線工務所の見学を組み込んだツアーを旅行会社と連携して発売しました。今後このような取り組みを通じて鉄道の魅力発信と利用促進を図ります。

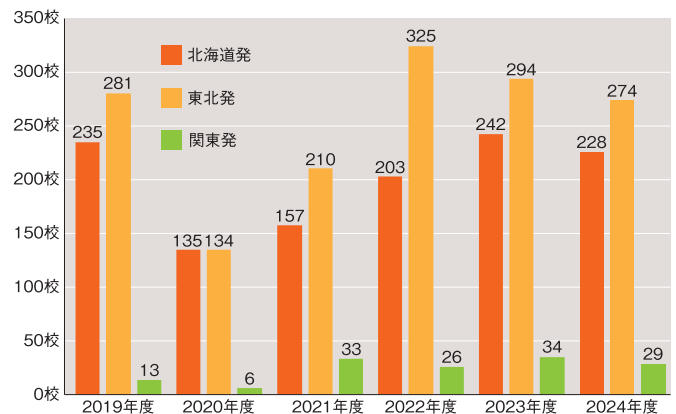


北海道新幹線を利用した修学旅行誘致

JR東日本、北海道観光機構等関係機関と連携し、関東・東北エリアから北海道新幹線を利用した修学旅行の誘致に取り組んでいます。近年は北海道新幹線を利用した初めての修学旅行を行う中学校が増えており、新函館北斗駅では、地域の皆様と連携したお出迎えにより、一生に一度の思い出に残るような取り組みを継続しています。

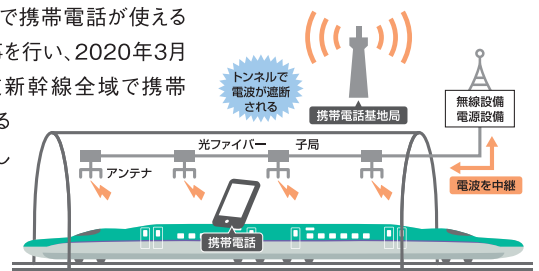


北海道新幹線を利用した修学旅行数の推移



北海道新幹線電波遮へい対策(携帯電話)

トンネル内で携帯電話が使えるよう対策工事を行い、2020年3月から、北海道新幹線全域で携帯電話が使えるようになりました。



新幹線荷物輸送

2021年3月より、佐川急便(株)と共同で、北海道新幹線を使用した宅配便荷物の輸送事業を行っています。新函館北斗駅から新青森駅まで、客室内に専用ボックスに入れた宅配便荷物を積み、輸送しています。

また、2021年4月より、JR東日本グループと連携し、北海道・東北新幹線を使用した生鮮品等の輸送事業に参画し、2021年10月より「はこビュン」(列車荷物輸送サービス)、2025年3月より「はこビュンQuick」(当日受付即日配達サービス)を開始しました。新函館北斗駅から東京駅まで車内の業務用スペースを活用し、個人のお客様の荷物のほか、北海道の魅力的な商品を首都圏の飲食店や駅構内店舗に向けて輸送しており、北海道産品の販路の拡大につながっています。

引き続き、北海道新幹線の一層の有効活用と収入確保を目指していきます。



専用ボックスによる宅配便荷物輸送



新幹線への積み込み作業



車内の業務用スペースに積み込んだ荷物

